

【現在の景況感】

- 「受注は順調にきているが、年明けから株や為替の先行きが見えなくなっており、心理的に好況とは言いづらい」(一般機械器具)
- 「大手自動車部品メーカーは良いが、2次下請け以下の企業にとって景気は良くない」(輸送用機械器具)
- 「中国経済の減速で昨年から半導体製造が影響を受けておりまだ若干悪いものの、生産がこのところ戻ってきた」(電気機械器具)
- 「好況を感じているとは言いづらいが一時よりは明るくなった印象」(印刷業)
- 「良くもなく悪くもない状況が続いている」(食料品製造業)
- 「建築着工量が増えておらず厳しい状況」(鉄鉄鋳物)
- 「景況が悪く消費マインドが委縮している。特に中間層は賃上げが期待できず消費が停滞している」(百貨店)
- 「業界全体的に停滞している感じがするが、予想したほどの落ち込みではないので悪くはない」(スーパー)
- 「消費税増税以降、売上減が続いており、厳しい」(商店街)

【売上・採算】

- 「前年対比で受注は増えている」(一般機械器具)
- 「受注単価の引下げや取引数量減少の影響で売上げが減少、採算性は前年より悪くなった」(輸送用機械器具)
- 「既存受注の減少が大きく、新規受注でも採算は戻し切れていない」(金属製品)
- 「原材料価格の下落を理由に価格下げの要請が強くなっている」(プラスチック)
- 「新規の受注は取れているが、既存のロットが減少している」(印刷業)
- 「利益は、製品価格に原材料コストを一部転嫁した一方で、人件費の上昇で打ち消されている」(食料品製造業)
- 「株価下落など商店街に直接関係ないことでも、社会の雰囲気暗くなると購買意欲に影響がでる」(商店街)
- 「仕事の件数は増えているが、人手不足から受けられる仕事に限られている」(情報サービス)
- 「法令を順守するためにも採算を確保することは必要である」(建設業)

【今後の見通し】

- 「中長期的な動きが読めない。中国などの外部環境が心配」(一般機械器具)
- 「原油価格の下落や中国経済の減速など世界経済が落ち着かないと先が見えない」(輸送用機械器具)
- 「中国国内の需要が本格的な動きになるかを注視している。先行きは不透明だが良い方向に向かうと期待している。」(電気機械器具)
- 「地方創生に関連したまちおこしの取組などによる効果を期待している」(印刷業)
- 「景気は回復に向かっているのだろうが加速力がない。変化なく現状維持が続く」(食料品製造業)
- 「来年の消費税増税に向けた需要取り込みよりも足元の売上を出すことに精一杯の状況」(百貨店)
- 「地道に上向いていると思うが、消費者に心理的に影響するニュースや経済動向の影響が懸念材料」(スーパー)
- 「来年の消費増税を意識し、顧客の購買意欲は高まっている印象を受けているが、経済や政治の動向次第。景気の方が見えづらい」(建設業)